

大牟田市企業局上下水道事業運営審議会(第4回)会議摘録

件名	令和7年度第4回大牟田市企業局上下水道事業運営審議会
日時	令和8年3月2日(月) 9:30～
場所	大牟田市企業局庁舎3階講習室
委員	出席4名
議事	○次第2 大牟田市水道事業経営戦略の策定について 大牟田市水道事業経営戦略(案)(資料1) 大牟田市水道事業経営戦略(案)への市民意見募集結果について(資料2) ○次第3 答申(案)の起草 ○次第4 答申(案)について ○次第5 答申
進行	内容
委員長	<p>前回、経営戦略(案)の内容について審議会として合意が図られた。その際に出た意見とより適切な表現等に修正することについて、私に一任いただいていた。今回修正された経営戦略(案)は事前に委員にもご確認いただいているが、改めて主な修正点について説明を。</p>
日水コン	<p>次第2 [資料1] 大牟田市水道事業経営戦略(案)の修正箇所について説明</p>
企業局	<p>前回審議会で委員より、老朽管更新計画において、水道カルテにおける基幹管路の耐震適合率はどのようになるのかとのご質問をいただいていた。その際、確認が取れていなかったことから、今回ご説明する。</p> <p>今後10年間で約30Kmの更新を行う予定であり、基幹管路については、そのうち約3.2Kmの更新を計画している。耐震適合率としては約46%となり、41%から約5ポイント上昇する見込みとなる。</p>
企業局	<p>[資料2] 大牟田市水道事業経営戦略(案)への市民意見募集結果について説明</p>
委員長	<p>更新計画に基づく耐震適合率の説明も受けた。前回の審議会をうけた修正内容もよりわかりやすい表現となっている。</p> <p>市民意見の内容は経営戦略(案)に記載されているものも含まれており、経営戦略(案)への反映ではなく、今後の参考とするとの説明であった。</p> <p>本日のこの経営戦略(案)をもって本審議会として了としたいと思うが、よろしいか。</p>
委員会	<p>了承</p>
委員長	<p>計6回にわたり、審議会の中で様々なご意見をいただき、修正し、最終版ということで本日ご了承いただいたため、それを踏まえてまとめていく。内容としては、皆様のご意見を5項目ほど付帯意見として取り入れたいと考えている。</p>

<p>委員長 企業局</p>	<p>中でも、老朽化対策は多くのご意見をいただき、更新投資を計画的に進めてもらいたいというのが本審議会の総意である。投資・財源計画の試算結果として、令和9年度で収益的収支の赤字が見込まれたことから、計画期間中の収支均衡を図るための1つのシミュレーションとして、令和11年度に22%相当の料金改定を行った場合の財政計画も試算されている。重要な項目でもあり、料金改定についても答申の付帯事項で触れさせていただく。</p> <p>機会を捉え、本審議会や市民への説明に務めてもらい、ご理解いただきながら進めていっていただきたい。</p> <p>以上の点を答申（案）として取りまとめる。</p> <p>ここで企業局との調整のため1時間程度、起草に時間をいただく。</p> <p>次第3 答申（案）の起草</p>
<p>委員長</p>	<p>次第4 答申（案）について説明させていただく。答申の趣旨では、厳しい経営環境の中、現状の課題に対し経営基盤の強化や財政マネジメントを進める必要があり、本経営戦略（案）は、将来にわたり安全・安心な水を安定的に供給し続けるための指針として、その内容は妥当なものであるとしている。</p> <p>その理由として、水道事業が目指すべき姿は不変であるとの強い意志や、経営課題とその改善策が具体的に示されていることなど、大牟田市水道事業が目指すべき将来像とその工程が明らかにされている点をあげている。</p> <p>以上のように、内容妥当としているものの、特に審議会として、着実に取り組むべき5項目として、①経営基盤の強化、②水道施設の強靱化、③効率的な組織機構の検討、④市民理解向上の取組み、⑤PDCAサイクルの確立をあげ、付帯意見としている。</p> <p>最後に、本経営戦略は、中・長期的視点に立ち、大牟田市水道事業が進むべき方向性と目指す姿の実現のために取り組むべき施策を示したものであり、基本理念に掲げる「安心安全な水を未来へつなぐ信頼ある大牟田の水道」の実現に向け取り組まれていくことを切に要望するということで結びとしている。</p> <p>この内容でいかがか。</p>
<p>委員会</p>	<p>了承</p>
<p>委員長 企業管理者 企業管理者</p>	<p>次第5 答申 別紙内容の答申書の手交</p> <p>本日は、本市の水道事業経営戦略の策定にあたり、答申として取りまとめいただき、感謝する。また、委員長をはじめ、委員の皆様には、公私ともに多忙な中、一昨年11月25日の審議会への諮問から本日に至るまで、およそ1年3か月の長い期間にわたり、熱心にご審議いただき、重ねて心よりお礼を申し上げる。</p> <p>水道事業においては、人口の減少が続く中で、老朽管の更新、施設・管路の耐震化、</p>

<p>委員長</p>	<p>技術の継承といった大きな課題が突きつけられている。そのような状況の中で、人が生きていくうえで必ず必要な「水」を供給する地方公営企業として、これらの課題を乗り越え、将来にわたり持続可能な運営を行っていく必要があると強く感じる。そのために、しっかりとした経営戦略をもって、経営基盤を強化する取組みを確実に進めていかなければならないと考えている。</p> <p>本日いただいた答申の内容を踏まえ、今後しっかり取り組んでいく。特に、付帯意見の一つにも示されているとおり、今後の取組みを進めるにあたっては、市民に、水道事業の現状を十分に理解していただくことが非常に大切であると考えている。今後は、より一層の情報発信および共有にも努めて参る。また、進捗管理については、定期的に本審議会へも報告する。なお、本日の答申を踏まえ、今月中に正式な大牟田市水道事業経営戦略として決定をする予定である。</p> <p>最後に、委員の皆様には、今後においても、本市上下水道事業の運営にご協力を賜りたい。</p> <p>最後になるが、水道はあって当たり前と思われているが、災害時などに改めてその必要性や重要性を感じる。</p> <p>水道は将来に繋いでいかなければならない重要なインフラであるため、そのための経営戦略を、審議会の意見等を反映し策定された。</p> <p>審議会の中だけでなく、市民との共有も重要になるため、市民理解を得られるよう着実に進めていただきたい。</p> <p>本日で水道事業経営戦略策定に係る諮問に対する審議は区切りを迎えるが、答申にも記載したように、今後の進捗管理が重要であり、引き続き、本審議会へ説明等をしてしながら、状況に応じた対応をお願いしたい。</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>
------------	---